



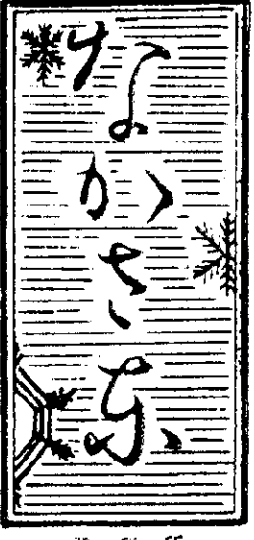
辯?

思ひ／＼に散つた出郷者達がお盆休みに、種々の話題を携えて歸つた。僕達の驚きの目を意識しながら彼等は都會を語つた。そしてやがてそれ／＼の生活の場に再び散つていった。そんな或る日、僕は友人と出合ひにこんな話を笑ひながら聞かされた。すつと東京で暮した男が、かつての田舎の友人達と飲み歩いた。だいたい迷ひ出した。彼等の間に何かのはずみにこんな會話がなされた。「飲もう飲もう、どうして君達はそんな難題を顔をしてるんだ。その目は……東京で暮したやつは浪費癖があつて、だらしないや。でもいづれか、そろそろ田舎の人はチャントした家もある。土地も着物だつて僕達が一着と違ふ。僕達がお金をバツ／＼と使つちやうのは本當に何もないからなんだ。それかと云つて君達同様ケチな暮らしをする、もう本物の貧乏人の、みじめな、まるで毛虫か乞食のあ



ナスの皮

「あーあああ、盆だてが、んに茄子の皮の難題だ。あ……」この文句は、重い年貢に苦しめられた農民の精一杯の反抗だつた。さうだ。今だに愛着を持つて口ずさまされる所を見ると、原子力時代の我々の生活も、實は徳川時代とあまり違つてはいないのだから。ボンギタ。ボンギモノ。とまりお客に御馳走だ、盆小遣いもいるにやないか、やりくりの頭の痛まない人は村中であらう多くない。それで、盆が来ると楽しい景色だ。娘さんが、ゆかた姿であとからあとと集まればオビだゾウリだあと、痛めつけられた大人達もそぞろ嬉しく若い氣持に返つて踊りの輪にも入りたくなる。だが踊りは踊りでもダンスというのがある。十三日のダンスパーティー、白い服で見たか、そのはいたいたもんだが、その反對のお方が多からう。「俺の若い時はあんなことはしない。」のだから無理もない。しかし昔、へちまの皮の難題だ。と壁張りしぼつた事から見れば、ほんの少しでもまた盆になつたのかも知れぬ。何かしら元と違ふ。新しいことが加わつて、その代り古いしきたりが消えて行く。歴史の流れに逆つて、なつかしいものを残しておきたいが難しい相談だ。もとはと云えば、お盆は祖先さまを偲び昔を振り返る行事なのだが、だんだんにその心が忘れられ、自分の楽しみ化して来た。昔の人達と共々のレクリエーションに夏の幾日かを過すのも、亦楽しからずや。昔を思い、今を楽しむ、よきお盆が来年も出来ましように、若手も、おとなと仲を良くして、一年間稼ごうではないか。



田澤小学校校長金澤眞平氏

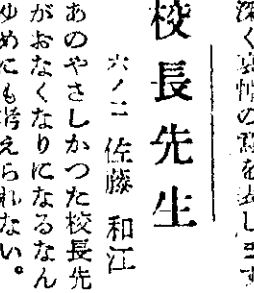
金澤眞平先生

田澤小学校校長金澤眞平氏は、一月以來病氣のため十日町病院に入院加療してゐたが、金村民の平癒の願いもむなく、去る九月六日午前六時三十分、右慢性肋膜炎肝臓ガンの爲つに自宅で不歸の客となつた。享年四十八歳。先生は本村には再度の奉職で、昭和十九年九月高道山小学校教頭として敏腕をふるひ、僅か一年にて水澤小学校教頭に抜擢され、二十二年四月田澤小学校長として赴任し以來十年、謹厳と正確なる行動と教育信念の強さを以て知られ、且つ親しまれてきたその間の先生の業績は、一つ／＼この紙面には書きつくせないが、老朽校舎の改築創立八十周年事業にあの大ステージの建築をなす等、すべて氏の熱情と努力によるものであ



田澤小学校校長金澤眞平氏

中里村公民館長 大島孝平氏 五百の児童と父兄に親しまれ、且つ村民より慕はれた如くしたおられた先生が、一月以來の病に達年を回復し得ないで四十八年の生涯を閉じられたことは、人生朝露の如しと思ひつゝ、も今先生の計に接して斷腸の思いを禁ずることが出来ない。



田澤小学校校長金澤眞平氏

校長先生

深く哀悼の意を表します。先生は實に飾らない素直で、そして強い信念と熱の所持者であつた。二十九年校舎の改築を行ひ、又ステージの新築を行つた事などその性格を物語るものである。五十一年の生涯は未だ早い漸くにして、人格は圓熟し、理想の實現に向わんと存じてゐる。

俳句「土倉」

おぼろきてそつと泣き出す 武田 一聲
虫とあり 久榮
放たれて今宵窓邊に鳴く虫 カズ子
お祭りがおえて寂しい鎮守 ハナ
盆休み友と遊びぬ清津峡 ナ
草刈や紫におうはぎの花 利一
初秋やつけなま／＼手に夕日 国雄
こおろぎや母は別で忙しく マスエ
夕涼み母と並んで語り合う
さわやかな空にちぎれる朝の雲 博久
ゆかたきて月待つ姉にすゝき 久
岩清水ちよるちよる流れカニ 光夫
ニの穴 光夫
朝涼やミヨウガを取ればミヨウガ鳴る 重雄
残り豆腐を清水につける祭 重雄
白百分のゆれて旅立つ夏休み
高原のボスターははられ夏のヨウガの子
もみぬかをふつて落しぬミヨウガの子
日俳中里支部 加瀬田秋陽
夜の芙蓉座せば妻の邊温か
星一ツ峯をよぎりて秋早し

お知らせ

一、公民館圖書をまだ返してない人は大至急返すこと
二、教育委員会、学校、公民館に物品の納入をなし、經理の出来ていないものは今月中に請求をなすこと。

山崎に火事

時三十分頃、山崎製材業廣田重政金丸氏宅二階から出火、台風十二号下の強風にあおられ、一時大火が氣にされ、消防團の活躍により同家半焼で同三時消し止めた。

田沢小六年 鈴木 計子

いつもにこ／＼していら
つしやつた私達の校長先生
先生はどこへいらつした
のでしよう。

お亡くなりになつたなど
今なお信じることができま
せん。

思えば今年一月、あの校
長先生が、御病氣で入院さ
れた時、思ひもよらないこ
とであり、信じられない位

貝野村ついに分村

併合村町 町村合併促進法が施行されて以來、中部大同合併（倉俣を含む）こそつと理想郷を建設することであるとし、今日迄これが實現のため推進を図つて來たが、水澤村の態勢が堅くなかつたため意外の難行を続け、町村合併促進法が中越支廳の再三の調定にもかゝらず、貝野村の輿論の統一も出來ず、ついに南部分村ときまり、貝野村は北分村ととなり、貝野村は六十七年の村史を閉じ南部の富中、阿寺、堀ノ内、本屋敷、新屋敷の五部落は中里村へ、北部姿、安養寺二部落は水澤村へ九月三十日



在りし日の
金沢校長先生

いらつしやるか、明日はお見えくださるかとお待ちしておりました。

スキー大会や、卒業式も済み、新しい一年生を迎えた入學式も終り、暑い長い夏休みも過ぎたけれどもとうとういらつしやらす、二度と歸らぬ人となられたと聞、數多くの偉業を殘され

は……私達一同悲しみて胸がふさがり言うことばを知りません。

校長先生は二十二年四月私達がまだ少なくて學校に上らない前に、この田澤の小学校においてになり、それから九ケ年半という長い間、數多くの偉業を殘され

で、是非實現させなければならぬ。

水澤村と協議し、なるべく早い時期に強力に推進し、一日も早くその實現を図りたい。

村民運動會

田沢校グラウンドで
23日 来る九月二十三日午
前九時より中里村第
一回村民運動會が田澤校グ
ラウンドに於て、公民館、書

ました。

中でも郡内指折りの明る
いりつばな新校舎の建設、
放送設備の完備や、楽しい
幻燈や紙芝居の充實、そし
て昨年は今、私達の眼の前
に見られる美しく廣い大ス
テージの建設など、先生の
業績は、田澤小學校の歴史
と共に永久に残され、村に
感謝され、愛されて消える
ことはありません。

又形だけでなく、いつも
笑顔で話され、時には私達
といつしよにピンポンをや
つたり、運動會や遠足、習
字の競書會、図畫の寫生會
等を通じて、又お勉強や兒
童會などに、いつも私達を
おさとしになつたお言葉は
忘れられません。

「元氣でほからかな子供
になれ」「きまりは皆さん
に」

◆トラクタの部

▽男子、百米、二百米、四
百米、千五百米、八百米
競走。

▽女子、六十米、百米、二
百米、四百米競走。

▽その他、百足競走、計算
競走、障害物競走、夜の
旅、猫に紙袋、借物競走

で守りましょう」静かに考へる子になるように」「よい言葉でお話をしましょう」「物を大切にしましょう」「何事にも熱心に最後までやりとげる子供になれ」……と……私達は今はかたみとなつたお言葉をしっかりと心の中に入れて實行して行く時、校長先生はいつまでも私達の心の中に生きてゐるのだと思ひます私たちは改めて思ひを新にし、校長先生のお言葉を守り、正しい人になり田澤小學校をりつばな良い学校にするよう努力することをお誓ひいたします。

どうぞ校長先生、高いお空の上からいつまでも、いつまでも私達を見守りはげまして下さう。

操縦競走、女子仕度競走男子百四十歳リレー、女子百歳リレー、自轉車運乗競走。

校葬執行

村では去る十日午前十時より故田澤小學校校長金澤眞平先生の校葬を田澤小學校講堂に御遺族及び縣下教育界、村内有志、PTA多數の参列のもとに厳かなうちに執行した。

校葬執行

操縱競走、女子仕度競走、男子百四十歳リレ、女子百歳リレ、自轉車遅乗競走。

火の用心に思う
村山 徳

村山 徳英

久しぶりに手にした「なかさ」と「村田君の『大人の方へ』」の一文を読んで私はまだ目の前を過ぎ去つたばかりのような氣がする自分の少年時代のことを想ひ出して懐しくなりました。

私も少年時代に火の用心をやつたのです。お盆や村祭の夜など、「いやだなあ」と思う時もありましたが、火の用心については数々の嬉しい記憶が残りました。はつきりしたことはもう忘れてしまいましたが、當番は五日に一回位の割だつたと思います。學校と同じように出席を取りました。

火の用心に出る度、に自分の名前の下に出席の印の斜線を引くことが、随分たのしみだつたものです。

そして秋も終りに近ずいて初雪が降り出す頃、都落の人々がそれらの苦しい家計から出し合つて買った鉛筆やノートが、一年中一生懸命火の用心をやつたとお

が社會全体のために力になる行事の一つです。

もし子供達の一生懸命火の用心に對して、相變らず火の元に不注意な大人道で會つても「御苦労さん」を云わない大人が多敵いとしたら、それはたいへん間違つてゐることだと思ふます。

然し他方火の用心をやつてゐる皆さんも、たまたま道で会つた人が「御苦労さん」を云わなかつたからといつて、一概に大人は誰も皆自分達の火の用心に協力してくれないのだ、と考えることも間違ひではないでしようか。たとえ無理解な小數の人があつたとしても大部分の大人は皆さんのやつてゐることに感謝し、知らず知らずのうちに火の元に注意してゐると思うのです。

又道で會つた人が御苦労さんを云わないからといつて、その人が必ずしも皆さんの火の用心に協力してゐないとも云えないと思ひます。

皆さんの火の用心は長い努力を必要とする仕事です。しかも一ぺんにその効果が見られるという性質のものではありません。

これ故皆さんの部落、ひいては中里村全体が皆さんの火の用心によつて、段々の災が起らない様になつたとしたら、皆さんの努力は十分に報いられてゐると云つて差支えないでしょう。

然し人間は神様ではありませんから思ふに過失から火災を起さないとも限りません。

こうした過失による火災を出来る限り少くしようとする處に皆さんの火の用心の意義と目的があるのたゞ思ひます。

火の用心の在り方、例へば年齢、性別、時刻、區畫等々についてはまだ、色々な疑問があるでしよう。又私達の昔と現在とでは、澤山の異つた点がある筈です。

此等はすべて先生の御指導と皆さんの仲間同志で十分に討議して解決出来る問題です。

自分達が正しいことを信じ、又社会的にも重要な役割を果している火の用心を今後とも自信を持つて、眞目にやり続けて下さう。

工業の元

コンニャク

中里村コンニャクといへば、食用にしか思つていなかつたが、我々の幼稚な考えでつた。それ文に販路の見しに苦しみ、栽培熱に欠た原因でもあつた。

昭和二十八年度全國の産量の八五％は工業に費された点をみても、如何コンニャクが重要な工業

工業の要素

コンニヤク玉を作ろう

中里村コンニャク生産組合 山本生

コンニャクといへば、食用にしか思つていなかつたが、我々の幼稚な考えであつた。それ文に販路の見通しに苦しみ、栽培熱に欠けた原因でもあつた。

昭和二十八年、度金國の生産量の八五％は工業に賣やされた点をみて、如何にコンニャクが重要な工業

界に進出してゐるかどうかがわれるのである。

まず重要なものを文をあげて見ても、火藥製品（ダイナマイト）を匹頭にゴム製品、セルロイド、ガラスビニール、防水布、皮革、塗料、糊類等列擧すればきりが無い程である。

コンニャクがこれらの重

要なる工業になくならぬ成分は、マンナンを含有したことは誰でも知つてゐる。

コンニャクには普通十〜%内外のマンナンを含み、他の蛋白質、脂肪、灰分等には殆んどないが、灰分中にシウ酸石灰を有く含んでゐるものである。

コンニャク栽培のコツは如何にしてこのマンナンの含有量を種芋に蓄積させるかが要点であり、技術である。

マンナンの含有多きもの程高価に取引されるからである。

この意味から肥料としては、窒素の外に加里、ホウ酸、珪酸の施用が強く叫ばれてゐる。

コンニャクは天南星科の植物に属するものだけに、この地方の湿氣を含む氣候には適してゐるから、栽培は容易であり、降雨の多い当地としては、凶作對策作物としても是非栽培すべきものと思う。

幸い今春中星村一岡の組合も出来、すでに種玉一〇〇〇貫以上を作付することゝ出来たが、販売の有利等關係上数量を確保する事が先決問題であるので、一

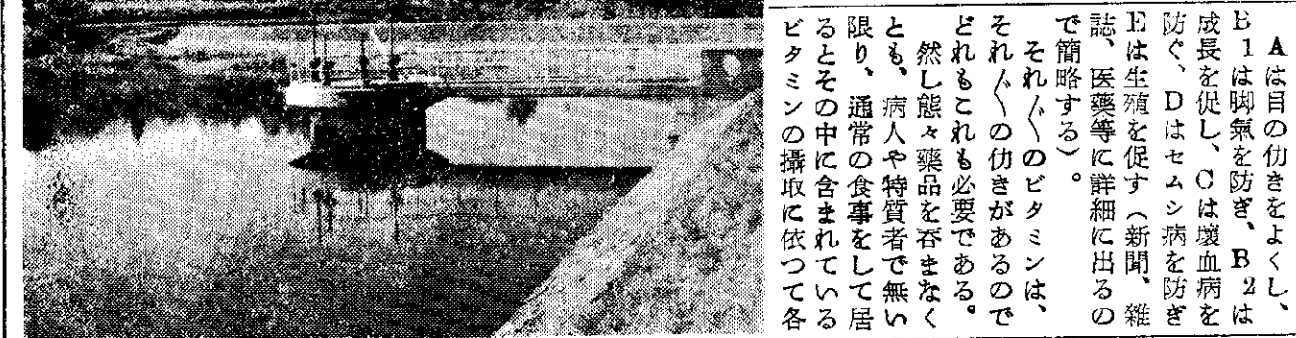
(西面へ續く)

栄養について【その四】

栄養価と栄養素（続）

始め學者は炭素素として炭水化物、蛋白質、脂肪、塩類の四種類を認めて、これらで充分な栄養を得る。そこでモルモットを使つて動物を飼育して見た。ところがどんな理想的な栄養素配合して與えても、モルモットは肥えどころか、段々やせて遂には死んで終つた。これは何か、四要素の外に必要なものがあるに相違ない。研究を重ねて居る中に、白米で育てると死ぬが玄米で育てるとよく育つ。そうすると玄米の中からは今まで分つて居るもの外に何かあるに相違ないと考えられた。

こんなところから次第にビタミンが現われて来た。ビタミンは蛋白質や炭水化物（澱粉類）と違つて、極く少量でよいのである。汽車を走らせるには澤山の石炭が必要である。唯それだけでなくて、直接の動力源とはならないが車の滑りをよくするために油がいる。マシン油が無いと機械は焼けて動かなくなると。ビタミンも丁度このマシ



Aは目の働きをよくし、B1は脚氣を防ぎ、B2は成長を促し、Cは壊血病を防ぎ、Dはセムシ病を防ぎ、Eは生殖を促す（新聞、雑誌、医藥等に詳細に出るので省略する）。

それらのビタミンは、それらの働きがあるもので、どれもこれも必要である。然し能く藥品を呑まなくとも、病人や特異者で無い限り、通常の食事をして居るとその中に含まれて居るビタミンの攝取に依つて各

各のビタミンが補給されて居るので、別に神経を使う必要はない。

だがね……或老人曰く、昔はビタミン何んのと云わなかつたが、皆々丈夫に暮らしてゐた。近頃はやれビタミンや小蛋白質と云いなから、何時も病院は満員である」と農村の食生活を研究して見ると、永い生活の経験から經濟上の問題はともかくとして、營養的に見て仲々立派な組立になつて居る。

四時折々の行事が丁度よく不足のビタミンや、蛋白質を補つてくれる。

そうしてなくては營養失調

になつて体が保てないので誰いとうとなく人間自然の欲求によつて、いつのよにかこれ等のコトマイゲツが織込まれたものと思われ。こうして人はその生活環境に調和して、山のものは海のもの、川のは川のもので、貧富を問わずに應じて、過当な食生活が營まれていた。

處が時代の變化や經濟の逼迫に、我々をそのまゝ自然の子にして置かなかつた。農村に於ても、満腹飽食は經濟が許さなくなつた。最少のものを最高度に活用することが要求されてゐる。

五日、十日にあつた事、名月も段々排除されて、月の行事も殆ど無くなつて来た。このまゝで行くと營養上重大な問題となる。

あえてこの稿を起したのも、こゝにあるのである。百姓が農家に變り、未分化の状況から次第に分化分業に變つて来る。

昔は庭先から野菜を豊富に得ていたものが、農家でもそれの専門農家から買入れる時期が来た。こゝに問題が潜んでゐる。

（二面から続く）

太陽族青年に與う

村山 武

時代は瞬間も停止することなく常に進歩發展して行く。敗戦この方如何に社會が變遷して来たことか。我等の先輩は自由と平和を呼んで戦後十年、苦しい試練を経て、今日なおも根強い封建性、一時猛威をふるつた獨裁思想たる共產主義に對する必死の闘を續けてゐる。

かゝる時流の中にあつて、またしも新しい風潮が現われて来た。

即ちそれは清純にして高潔、素朴にして正義漢たるべき我等青年の中に、所謂太陽族なる青年の發生したことである。

都會の本物の太陽族はいざ知らず、私の最も重視してもあきたらないものは、農村における太陽族、つまり「準太陽族」とも云われるべき青年の白昼横行の事實である。

無軌道な、無責任な、道徳的でない利己的、打算的、享樂的青年の公然たる出現である。

先に私は本紙六月号に、「一青年の視界」と題して小文を載せたことがある。

その中で「太陽の季節」について一言ふれたことを記憶してゐる。

それがあたかも作品の中の主人公を肯定したかの如き感じを受けた人があるというが、それは誤解である。私は作者に作品を書かした動機と、その意義を善意に解釋して、作者の立場を介護したに外ならなく、決して今日の太陽族に同調してゐるのではない。

一時大變よく守られた集合時間、最近又さつぱり勵行されてゐないよう

守れないものか

時間勵行しない人は人の迷惑を考へない自己の勝手本位の人間である。こんなことでは新しい村造りも、自分の幸福も得られよう筈はない。

時間勵行は本人の氣構えもさること乍ら、家中の者がみんな協力しなければ出来ないことでもあるが、村の行政に参画してゐる者等は、少く共何日、何時から何處に何がある位は明示しておくべきではないか。

ある大きな思想が背景となつてゐる。

その大きな思想が、新しい社會、經濟組織の確立をもち、何時に新新モラルの体系を創造せしめるのである。

日本の民主改革が如何なる思想の基礎の上に築かれたか、あるか、云うまでもなく、今日日本の民主主義體制は西歐自由主義思想をもつてその基礎となす。

しかしながら、如何なる目的で、如何なる經過で、それがこの改革（制度の改

革のみ）を斷行したといふのか。

御承知の通り、皇國日本が戦争に負けて、連合國軍がボツダム宣言に則り、我が國土を占領し、國粹主義を驅逐し、民主制度を樹立せしめたのであつて、云わば民主主義は我が國にとつて敗戦の副産物である。

我等はこの歴史的事實の上に立つて、今日の我が國を民主化するもの、眞相を探究しなければならぬ。

かくて私は思う、我が國農村における民主主義の根は未だ地に根づいてゐないといふこと。

更に思う、今日の青年の間には叫ばれてゐる自由は、その言のあまりに軽く、その行爲の、まつたく的はづれの、無茶苦茶であること。

今日青年運動の現況を見れば、私の表現をもつてすれば「あまりにうすつぺらな、うわつ調子」の感をまぬがれないのである。

終戦直後、中學生の頃であつたが、この素朴な靜かな農村に「文化、文化、文化」「民主化、民主化、民主化」の聲、にわかに興り猫もしやしくも「文化的」生活を主張し「平和的文化國家」の建設を唱え、青年は各地で演藝會を催し、特